

交野市生涯学習基本計画 中間見直し
市民アンケート調査
【結果報告書】

令和 3 年 12 月

交 野 市

1. 調査の概要

1－1 調査の概要

項目	内容
調査地域	市内全域
調査対象者	市内在住の満16歳以上の市民
抽出方法	住民基本台帳より、2,000人を無作為抽出（ただし、地域・年齢は考慮する）
調査期間	令和3年10月～11月
調査方法	郵送配布・郵送回収
回収数	891人
回収率	44.6%

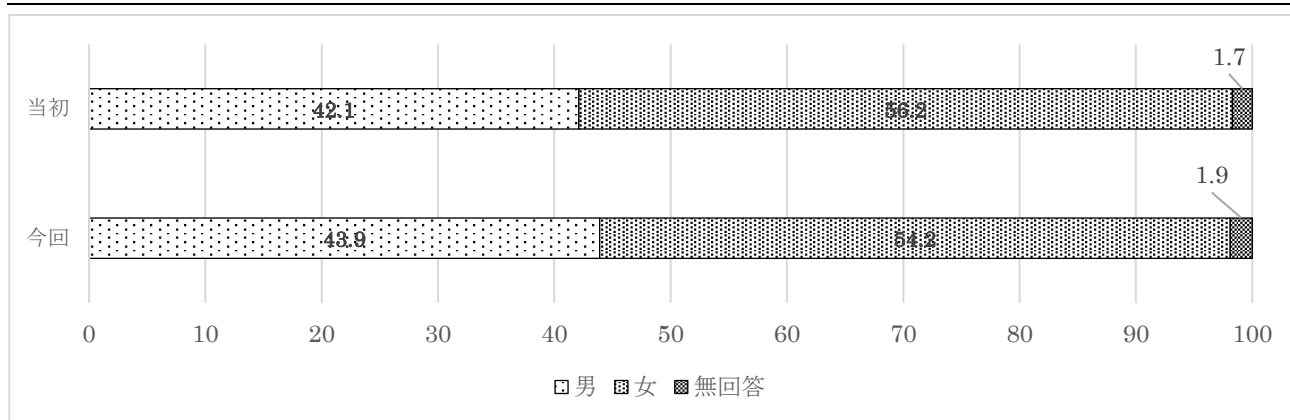
1－2 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 本文中の設問の選択肢は簡略化している場合があります。

2. 調査結果

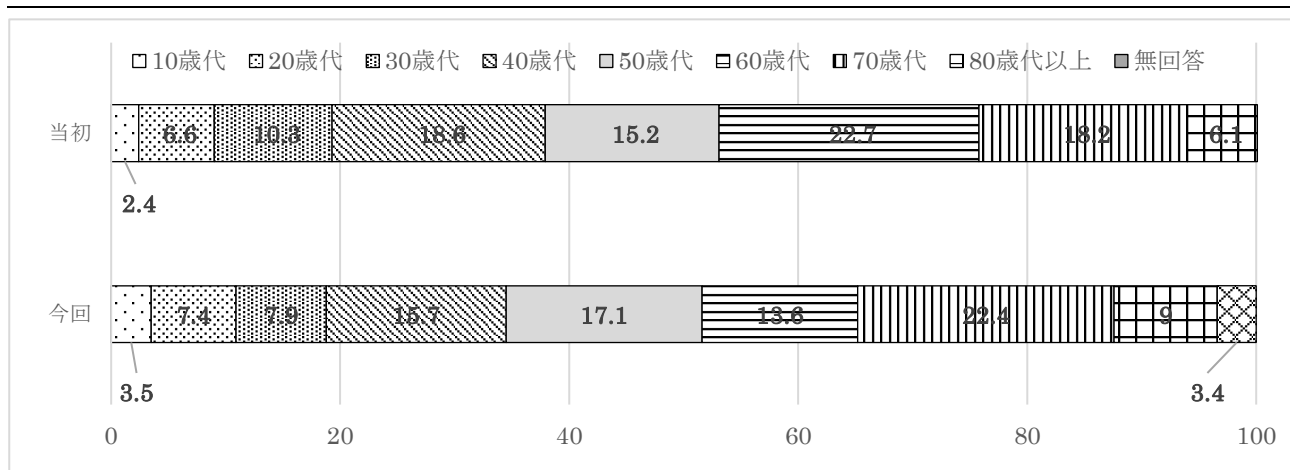
問1 あなたの性別について、お聞かせください。

「男性」が42.1%、「女性」が56.2%となっています。



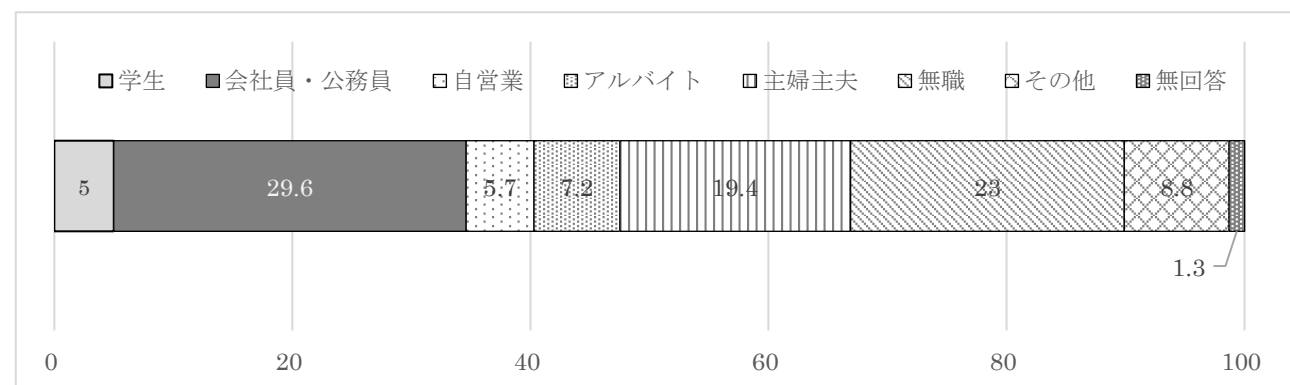
問2 あなたの年代をお聞かせください。

「70歳代」が22.4%と最も多く、次いで「50歳代」が17.1%、「40歳代」が15.7%となっています。



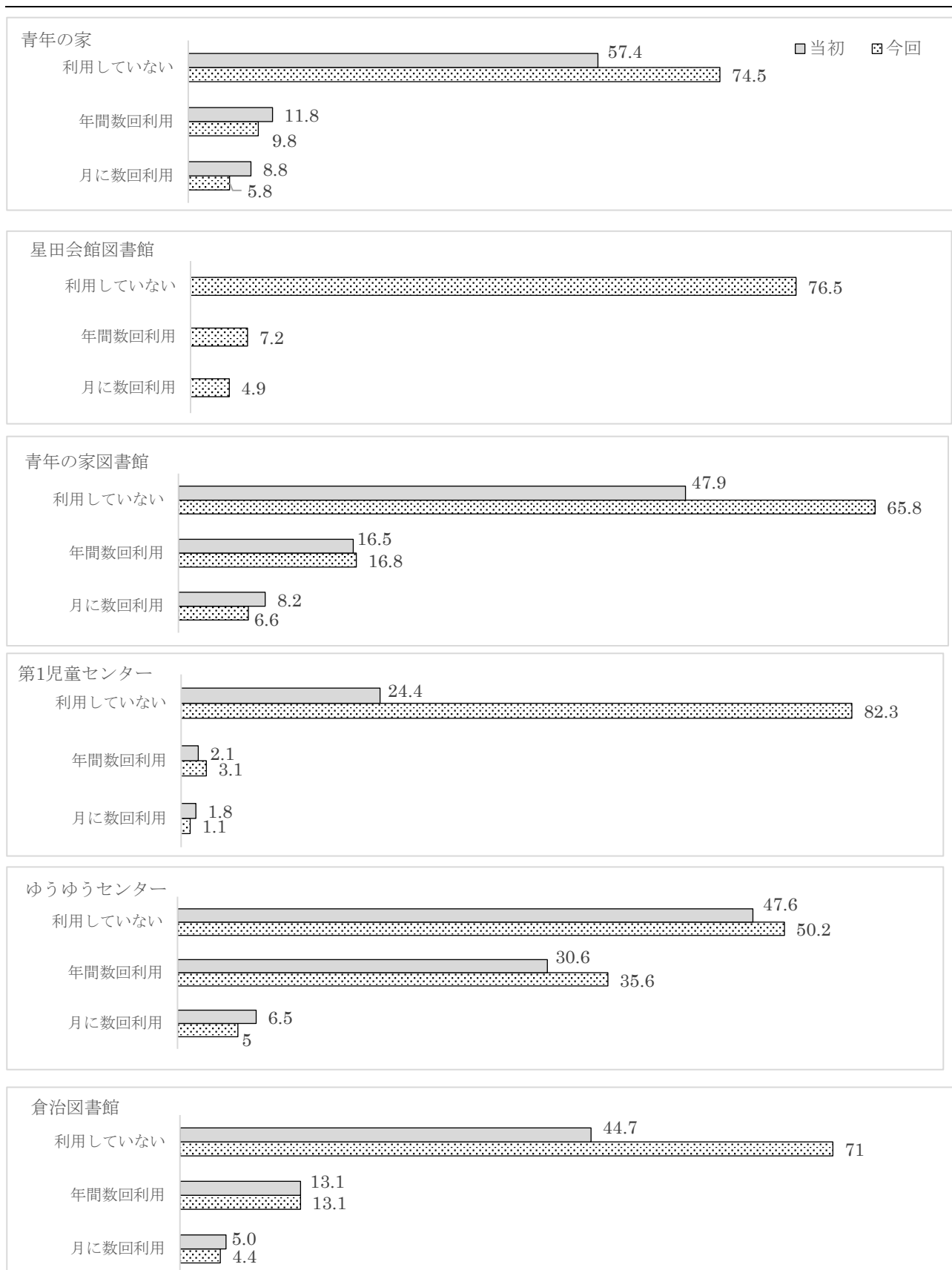
問3 あなたの現在のお仕事をお聞かせください。

「会社員・公務員」が29.6%、次いで「無職」が23%、「主婦主夫」が19.4%となっています。

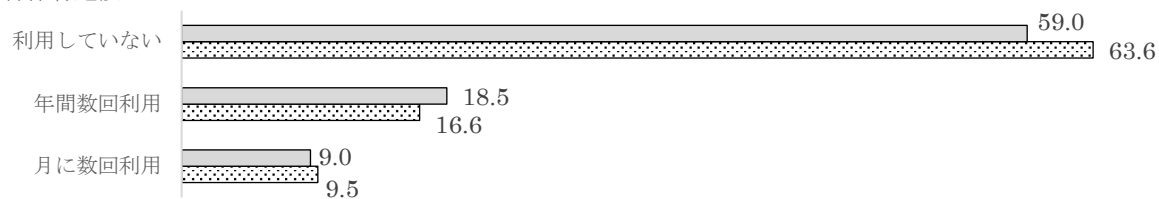


問 4 あなたは次の公共施設をどれくらい利用していますか。①～⑰の施設ごとに、あてはまる欄に○を付けてください。

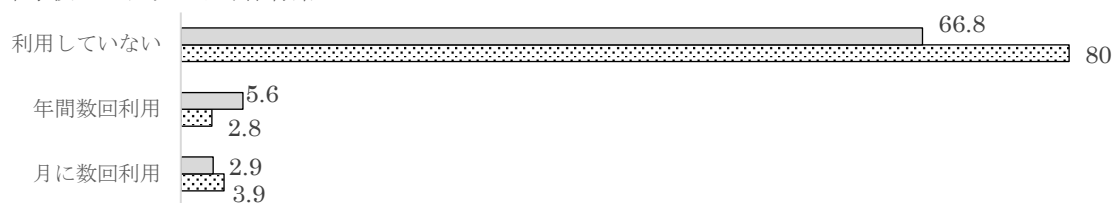
どの公共施設を見ても「利用していない」が高い数値を表しています。



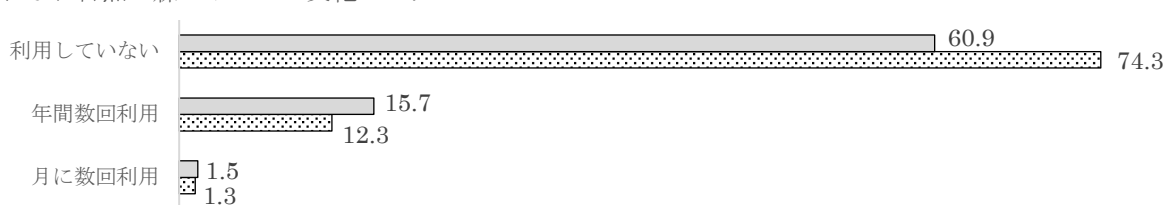
総合体育施設



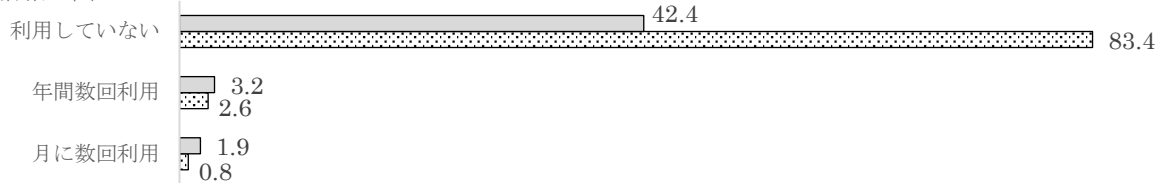
小中学校のグラウンドや体育館



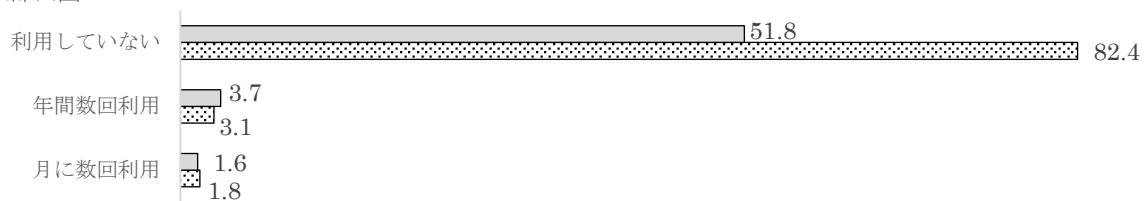
いわふね自然の森スポーツ・文化センター



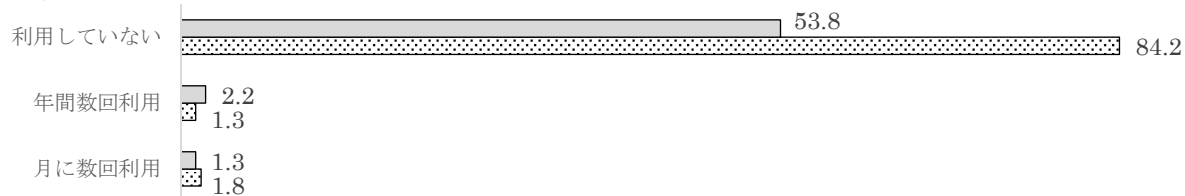
倉治公園



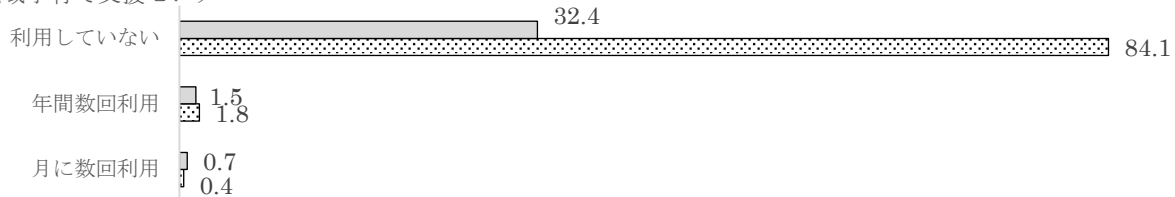
私部公園

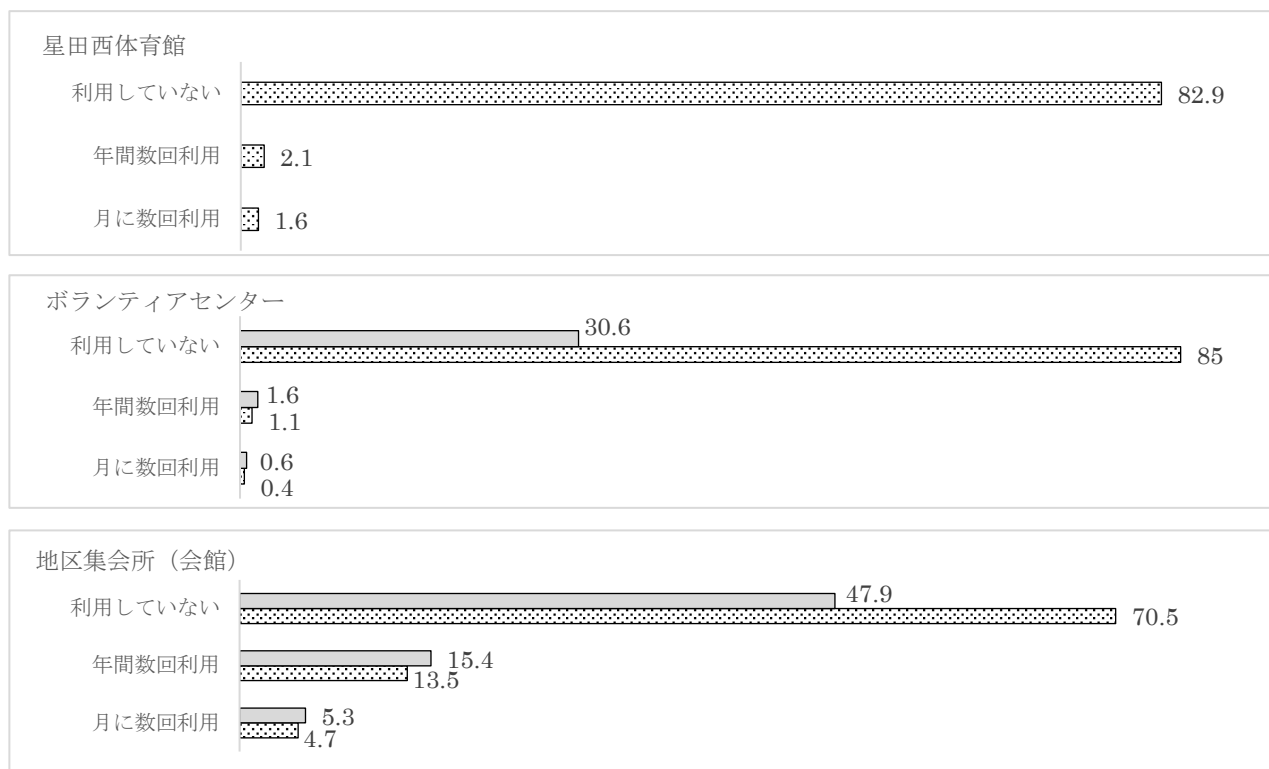


武道館



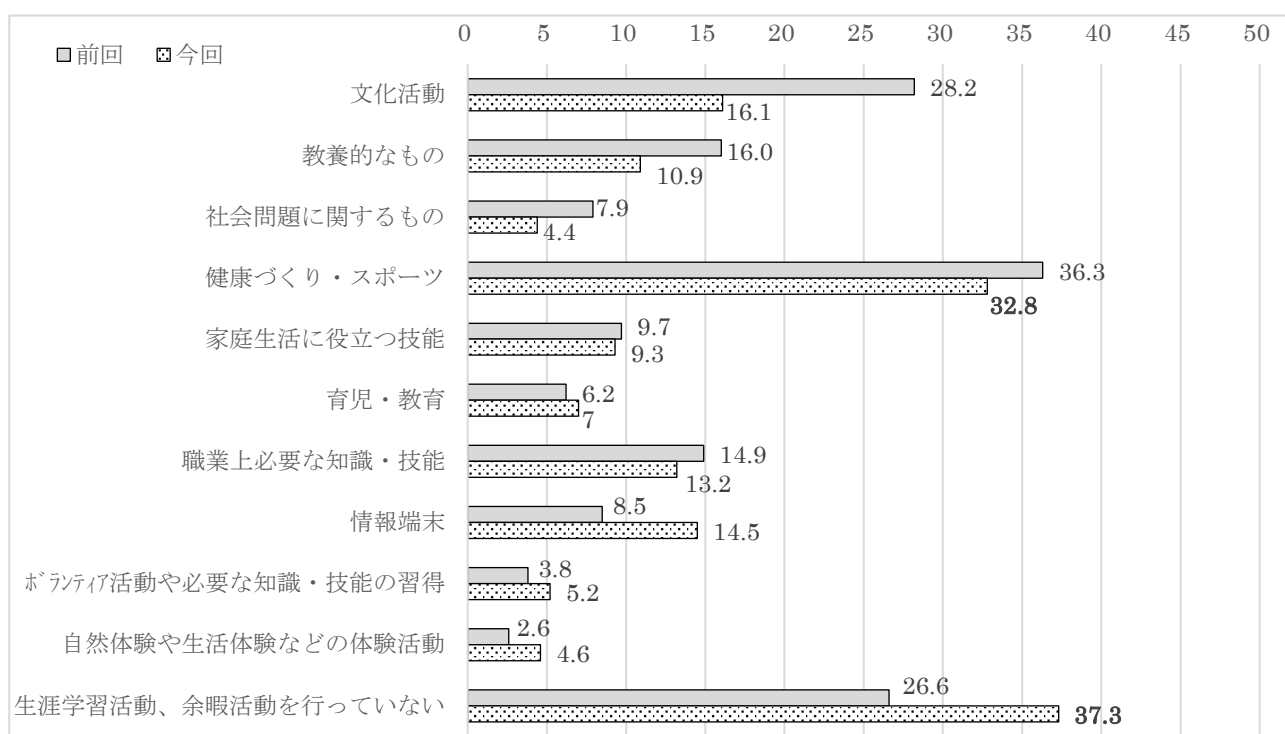
地域子育て支援センター





問 5 生涯学習活動、余暇活動をされたことがありますか。

「生涯学習活動、余暇活動を行っていない」が37.3%と、次に「健康づくり・スポーツ」が32.8%となっています。

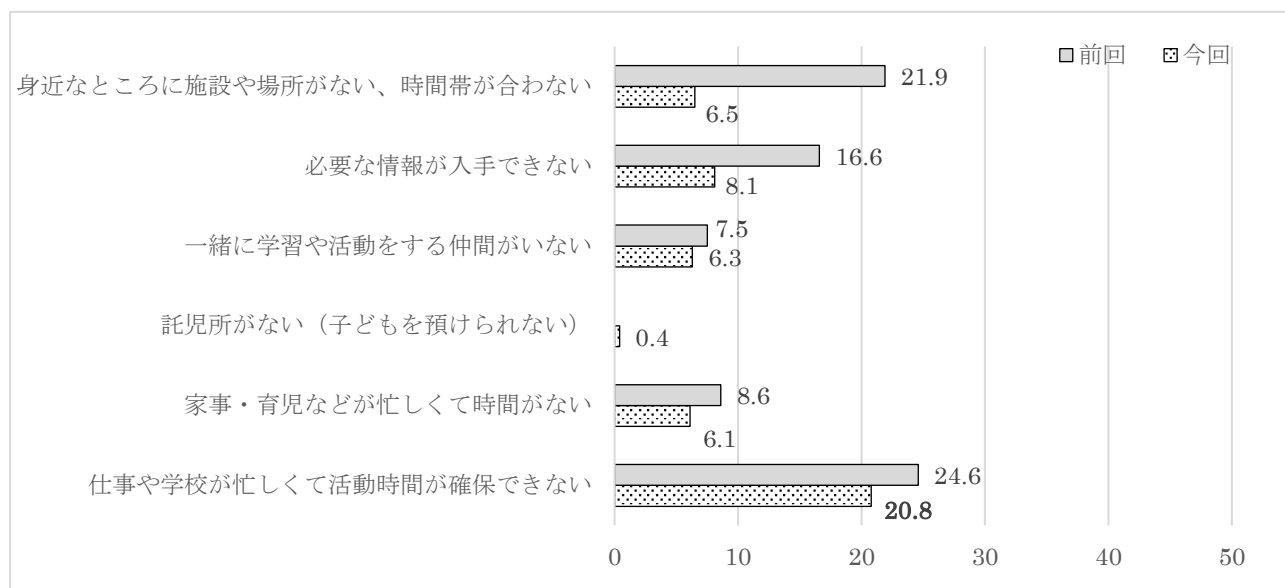


→ 引き続き、必要な最新情報をいつでも入手できよう情報発信に努めていきます。

(施策目標1-1)

問 6 行っていないと回答した方

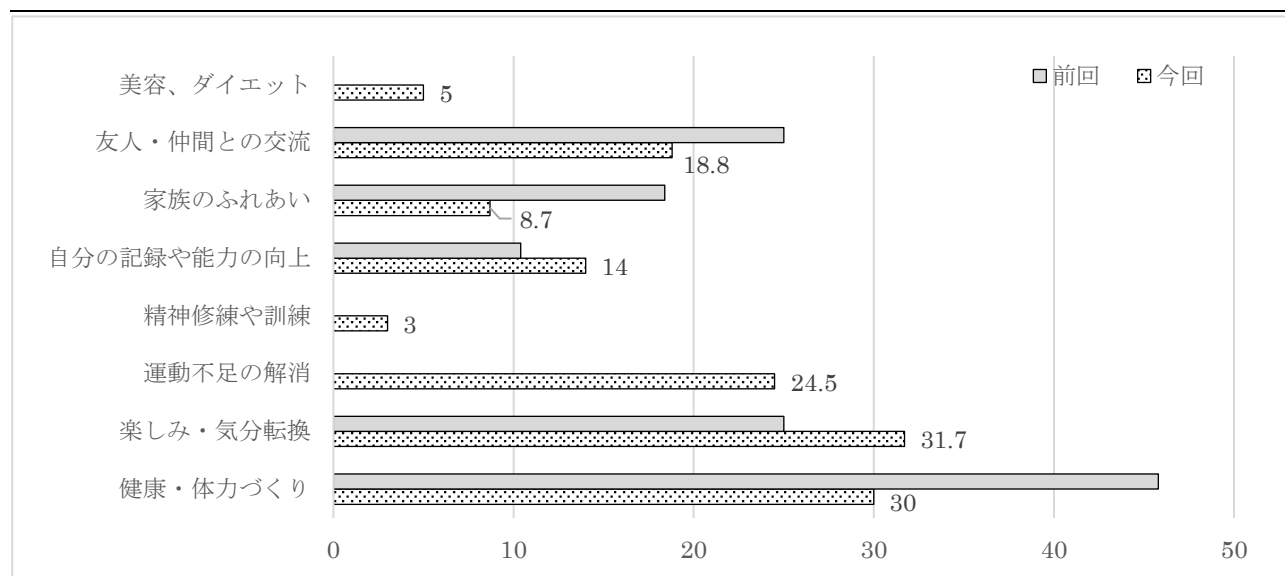
最も多かった「仕事や学校が忙しくて活動時間が確保できない」が20.8%となっています。



→ 当初よりは減少していますが引き続き、情報発信に努めていきます。（施策目標Ⅰ-Ⅰ）

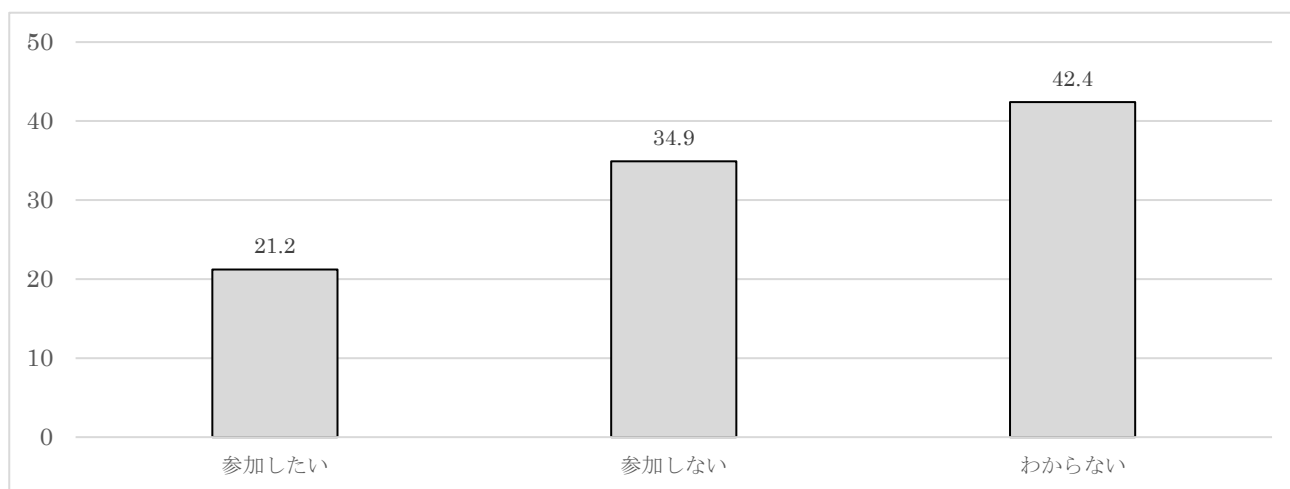
問 7 生涯学習活動、余暇活動をされたことがありと答えた方

「楽しみ・気分転換」が31.7%となっており、次に「運動不足の解消」が24.5%となっています。



問 8 動画等の配信があれば参加したいと思いますか

「参加しない」が 34.9%となっていますが、「わからない」が 42.4%となっており、内容によっては「参加したい」とも考えられる。

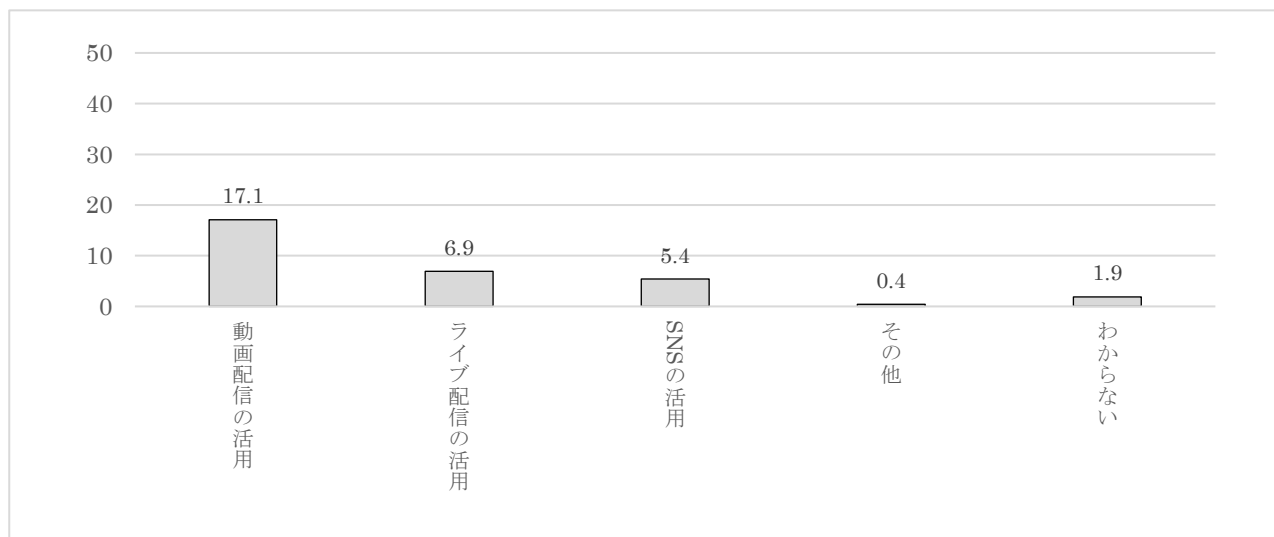


【新たな項目】新型コロナウイルス感染症拡大により、「おうち時間」が増えました。

おうち時間を活かす為に教室内容の動画等の発信があれば参加したいと思うか問いました。内容によっては「わからない」と答えた方も参加させる可能性もあります。

問 9 「参加したい」に○を付けた方

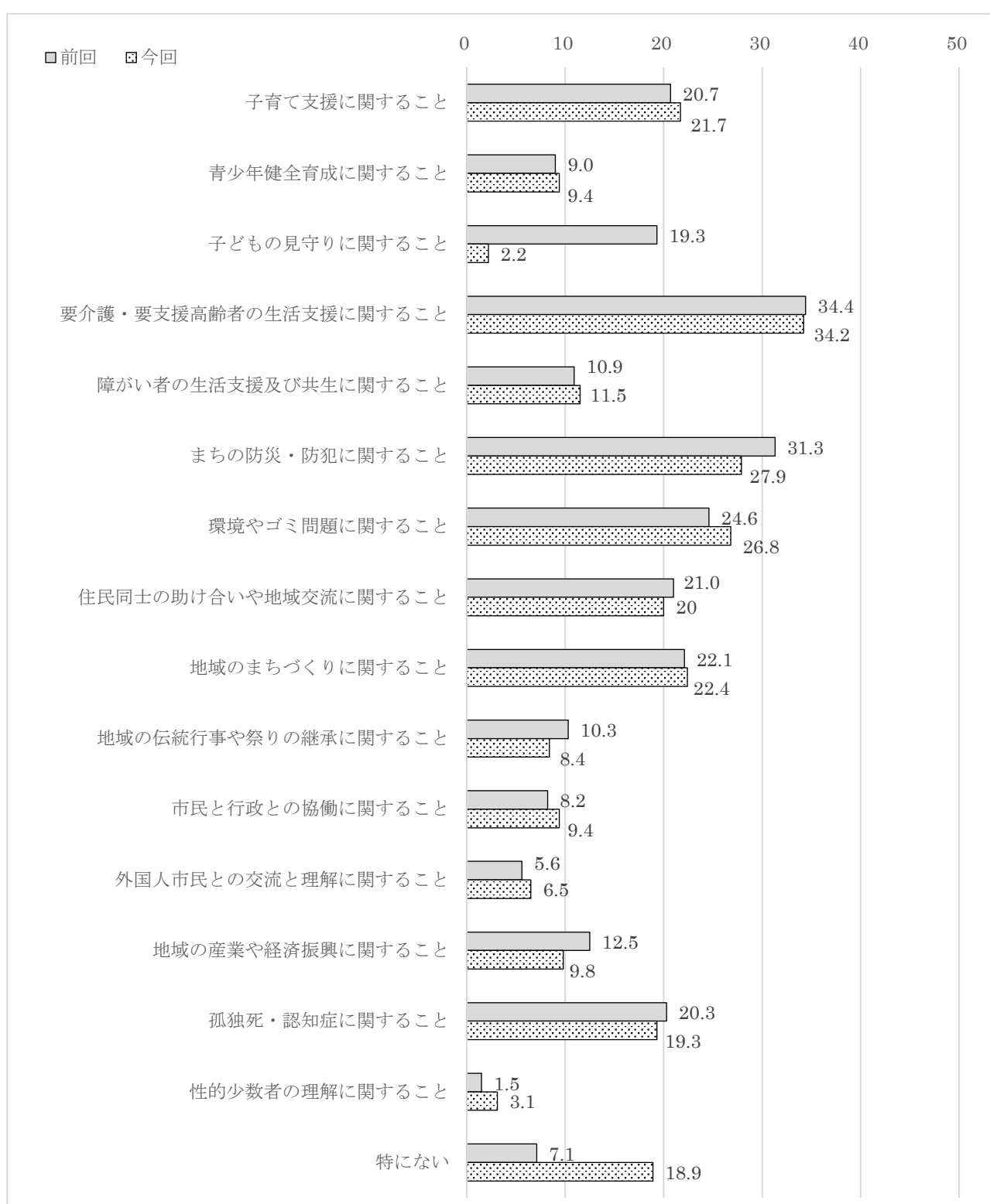
一番多かった「動画配信の活用」が 17.1%となっています。



【新たな項目】YouTube や生配信といった配信方法も検討する必要があると思います。

問 10 地域の課題

「要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること」が 34.2%と多く、次に「まちの防災・防犯に関すること」が 27.9%となっています。



当初と比べても「要介護・要支援高齢者の生活支援に関すること」が多かったです。

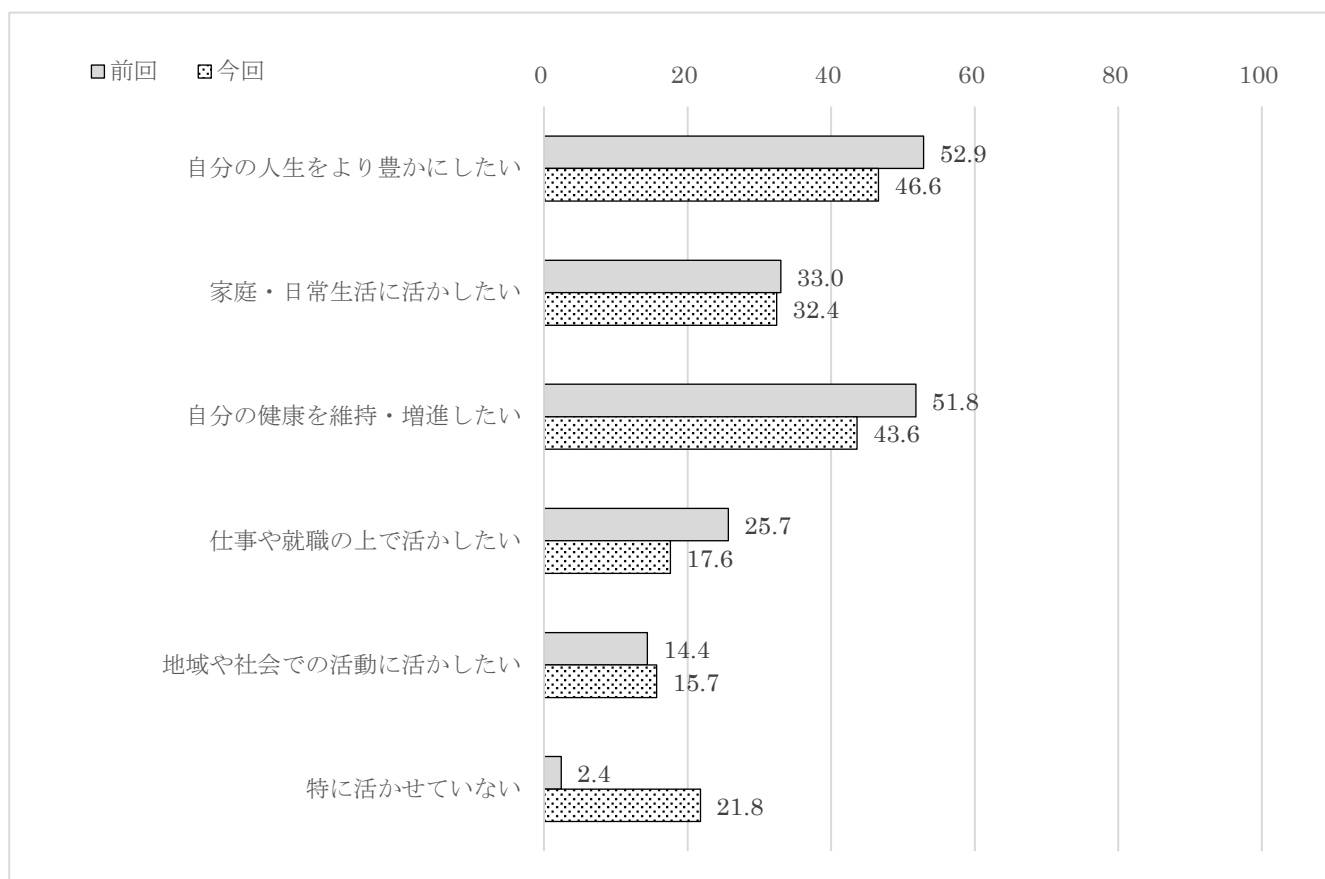
→ 地域における学習活動やスポーツ活動を通じて誰もが参加しやすい交流機会の充実をはかっていきます。(施策目標 2-1、2-2、3-2)

問 11 知識・技能、経験を、生活の中でどのように活かしていますか。

「自分の人生をより豊かにしたい」が 46.6%と多く、次に「自分の健康を維持・増進したい」が 43.6%となっています。

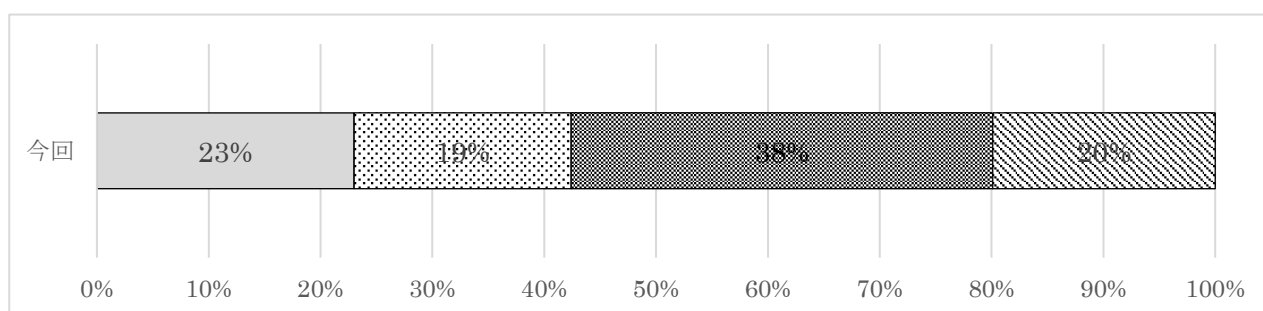
「自分の人生をより豊かにしたい」、「自分の健康を維持・増進したい」と前回同様高い数値となっています。

→ 引き続き、身に付けた知識や技能を発表できる場の提供を行っていきます。(施策目標 1-3)



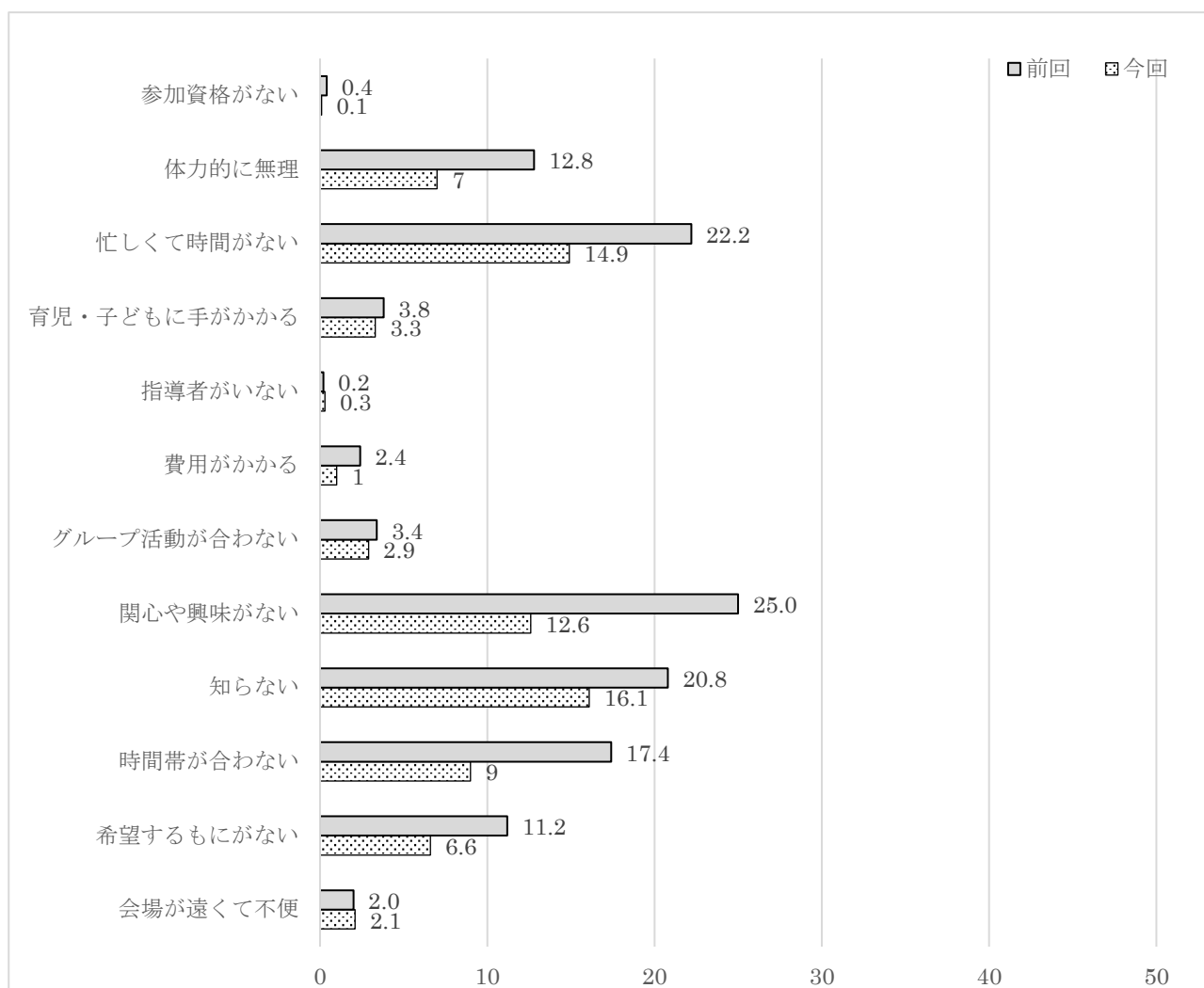
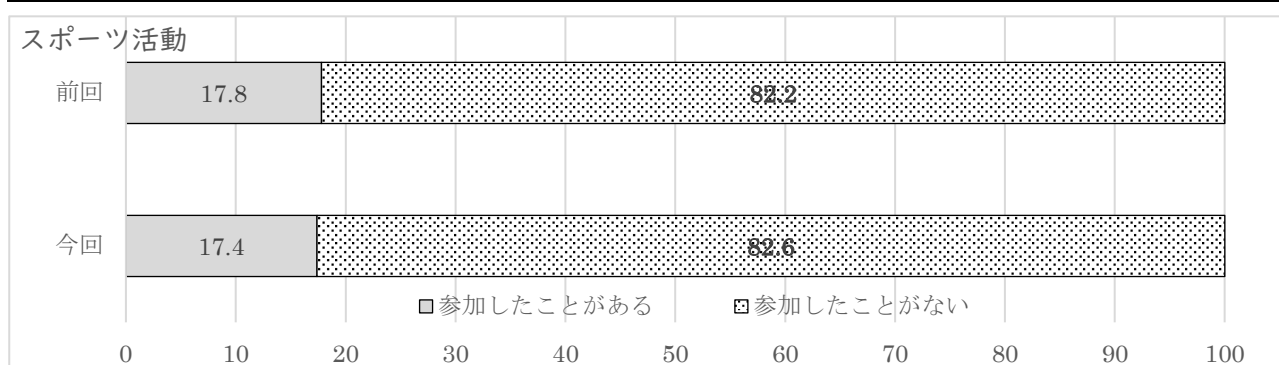
問 12 特に生かせていないと答えた方。

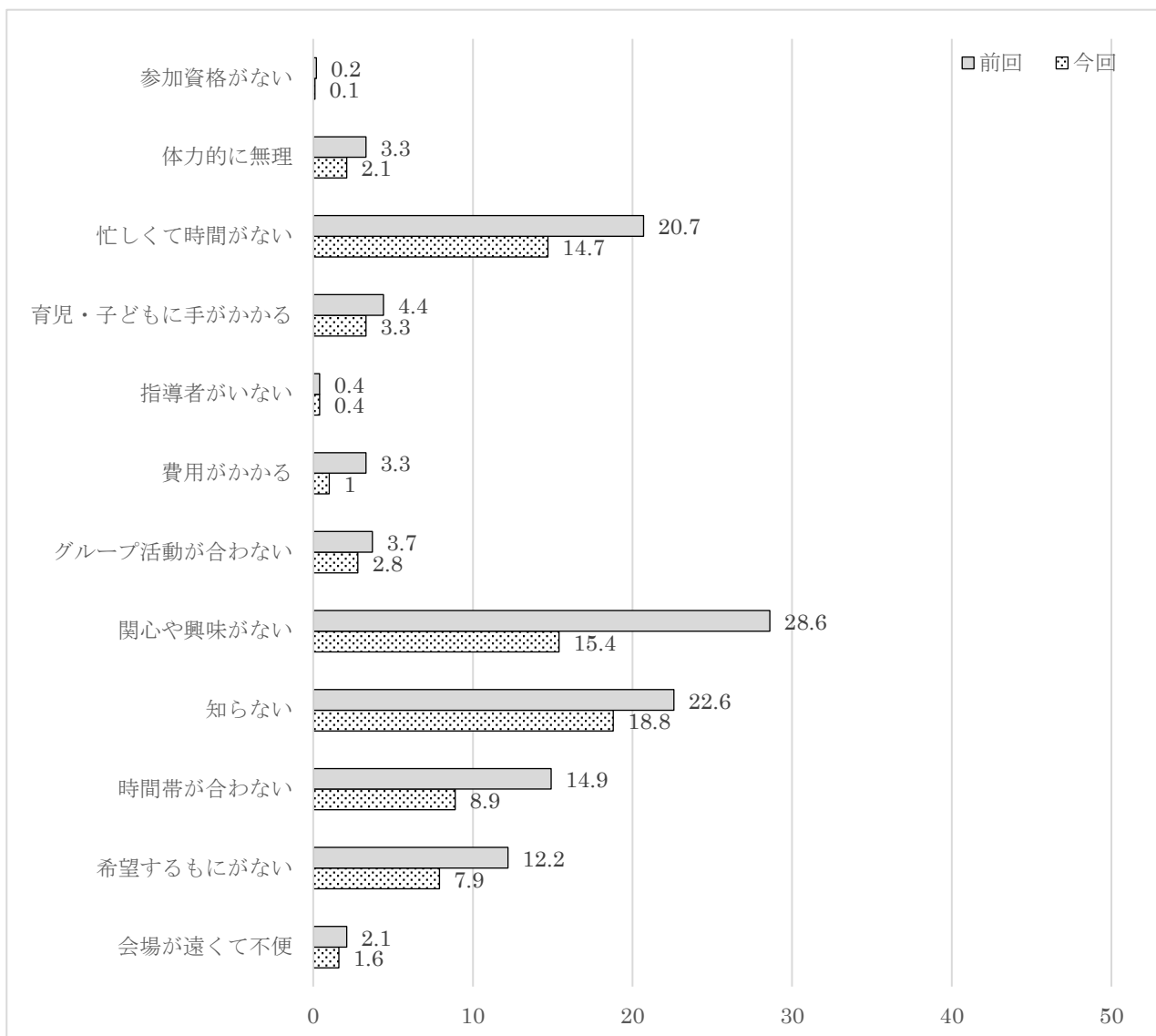
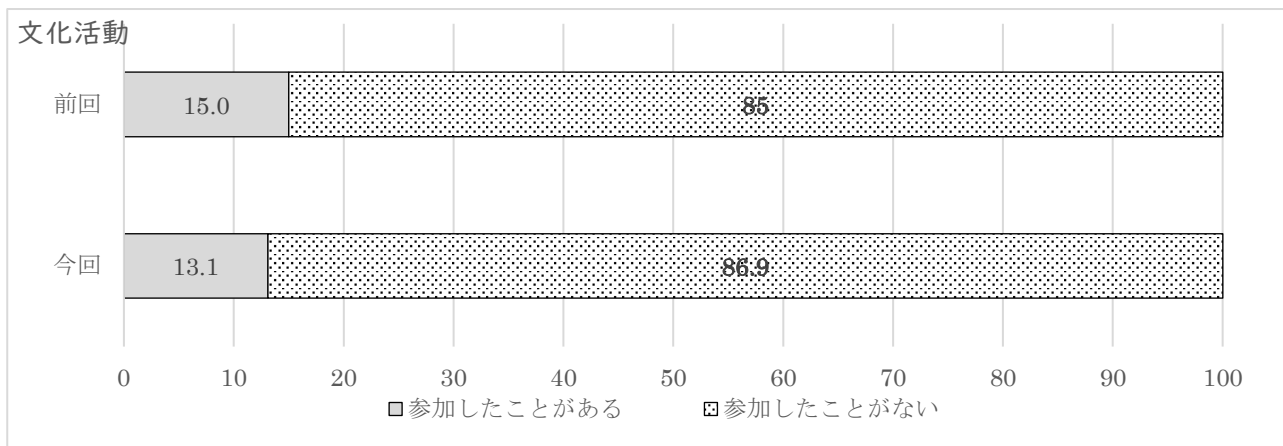
「活かすまでの知識や技能を習得しきれていない」が 10.8%となっています。

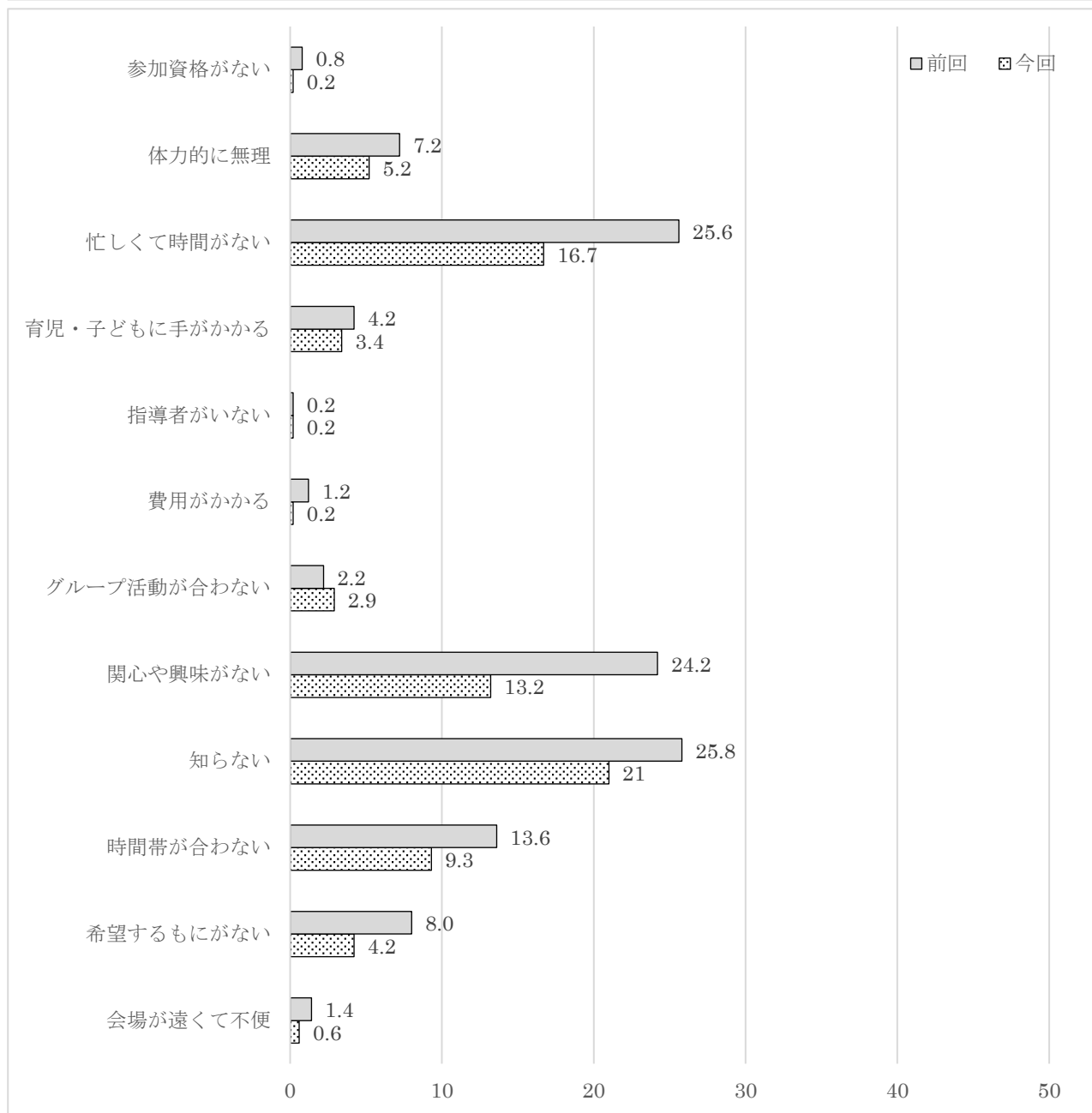
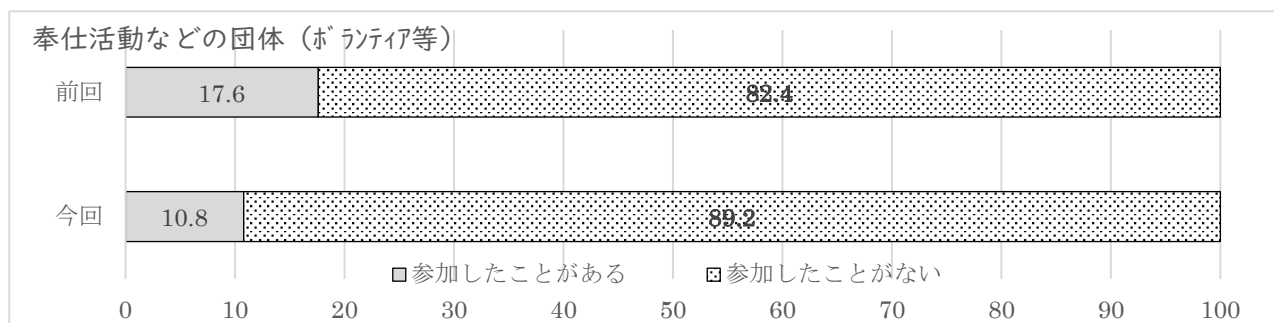


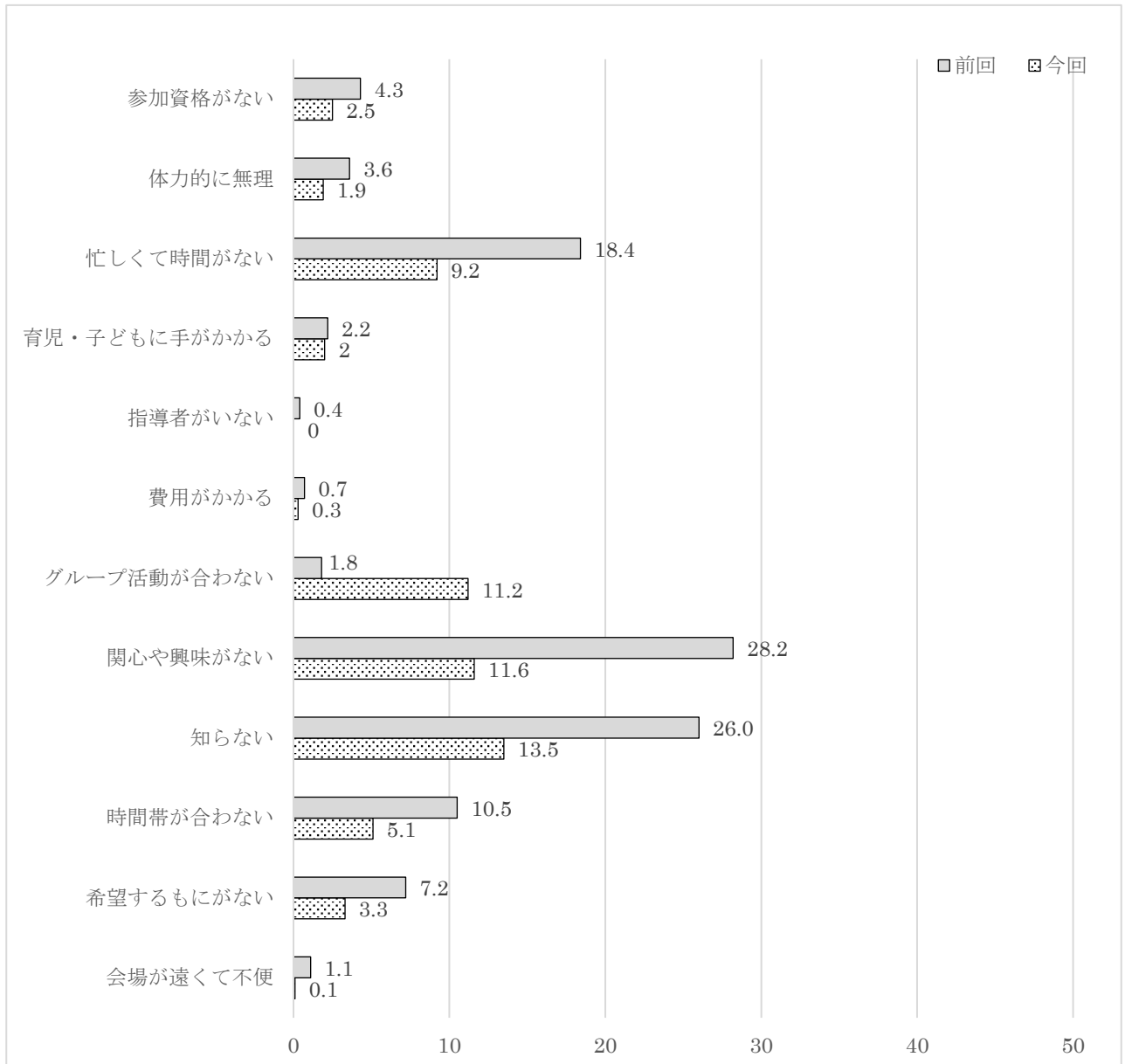
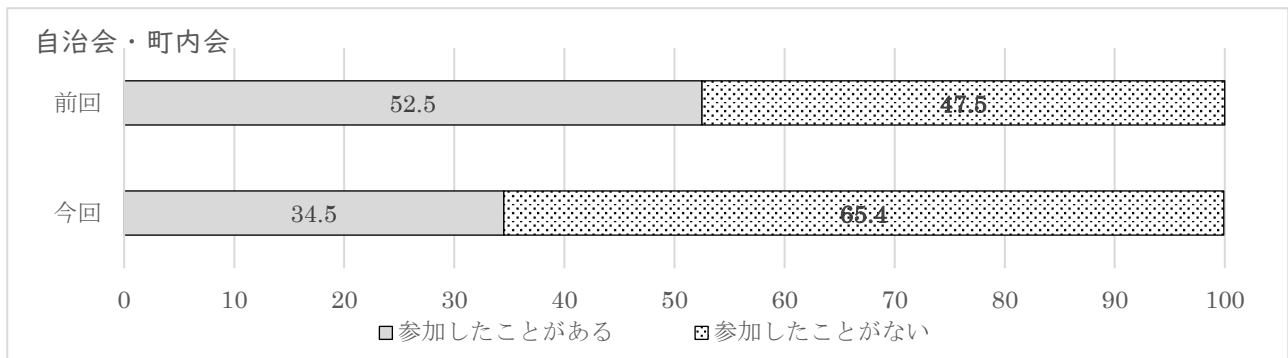
問 13 サークル活動や、地域で行っている会合や行事に参加したこと。

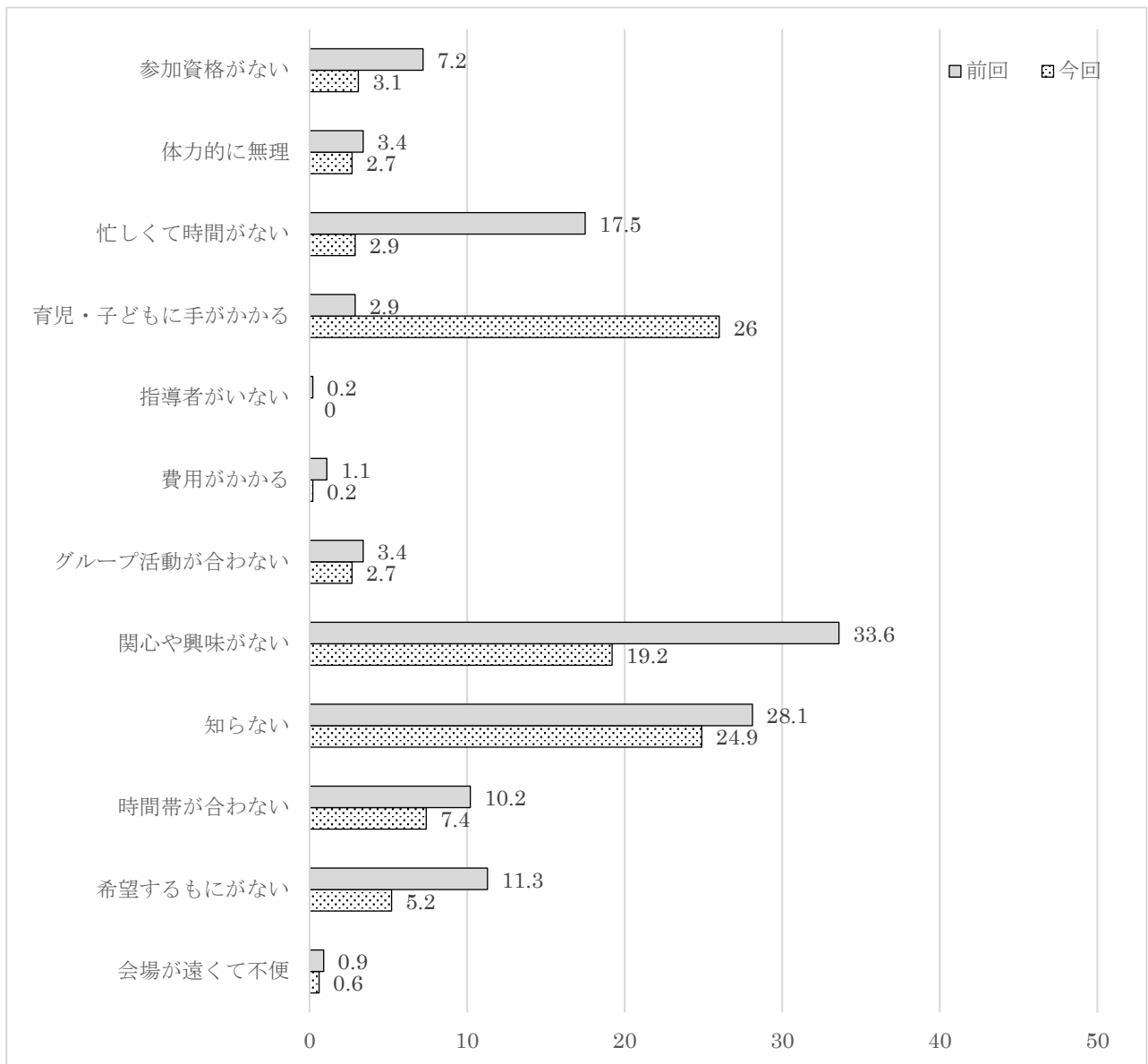
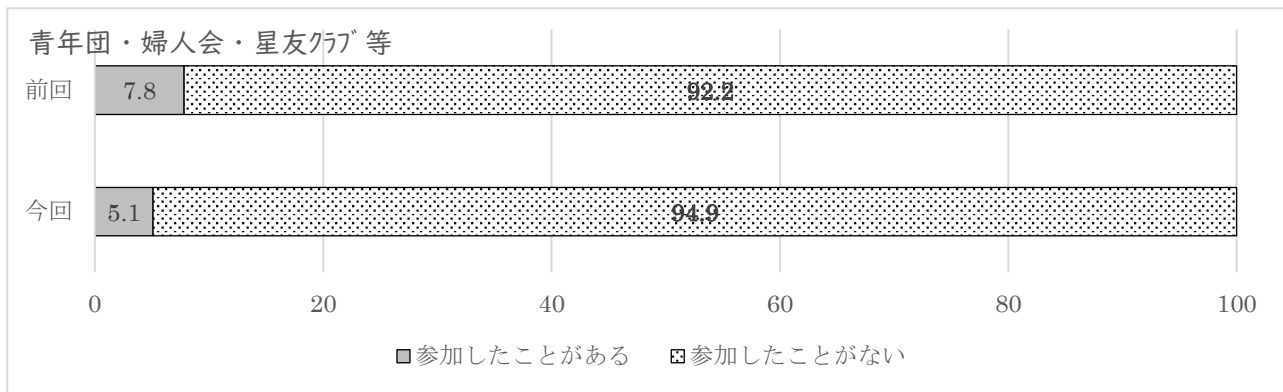
一番多かった回答として「自治会・町内会」が34.5%となっています。





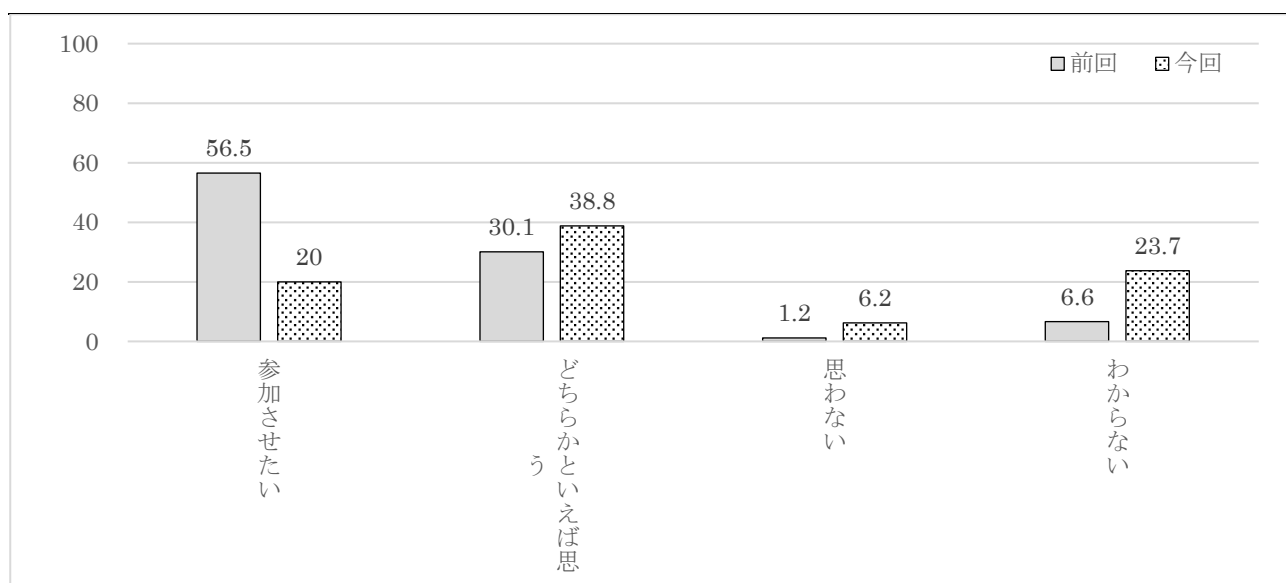






問 14 子どもたちの地域参加

「どちらかといえば思う」が38.8%と多く、次に「わからない」が23.7%となっています。

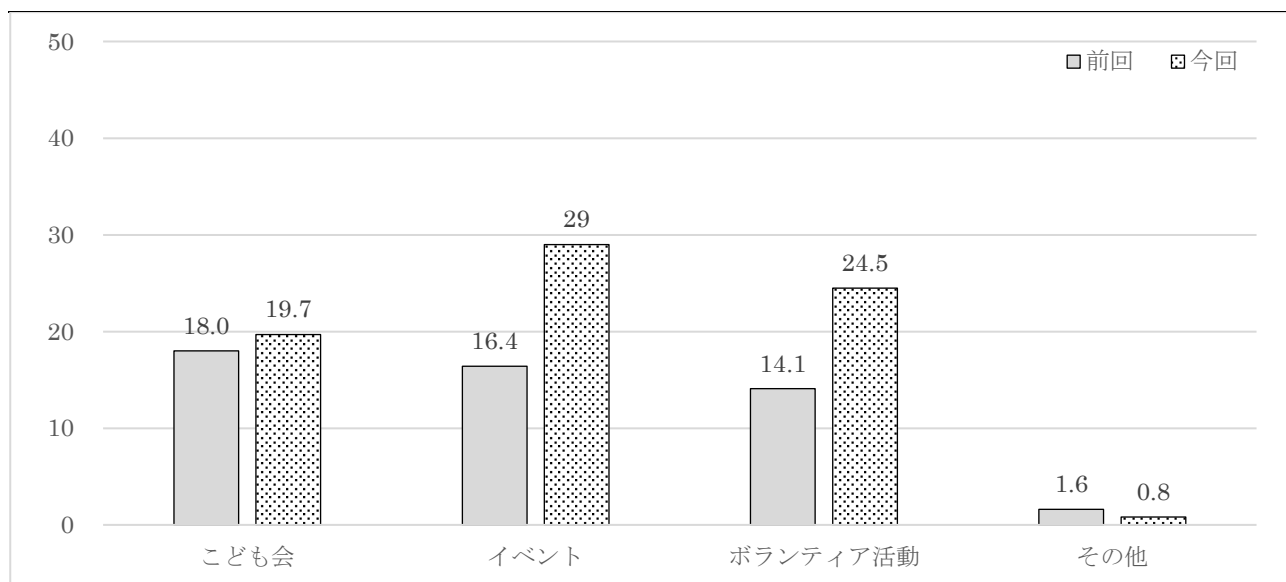


「参加させたい」と「どちらかといえば思う」の合計は58.8%となっています。

→ 引き続き、学校や家庭、地域などの交流機会や情報交換の場づくりを行い、地域で子ども達を育めるよう行っていきます。(施策目標3-1)

問15 参加してほしい内容

イベントが29%と多く、次に「ボランティア活動」が24.5%となっています。



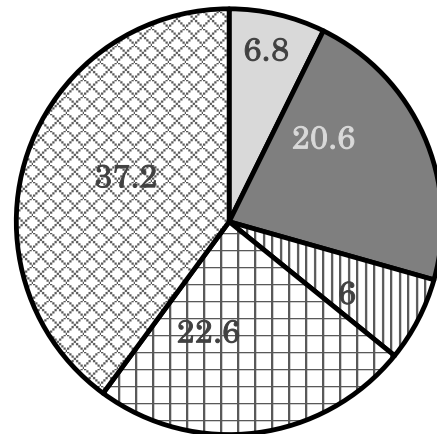
一番多かった「イベント」が29%となっています。前回と比べても参加させたいと思う気持ちが高いと感じられます。

→ 引き続き、地域における体験活動や交流機会の創出に努めていきます。(施策目標3-4)

問16 学校を支援する活動に参加

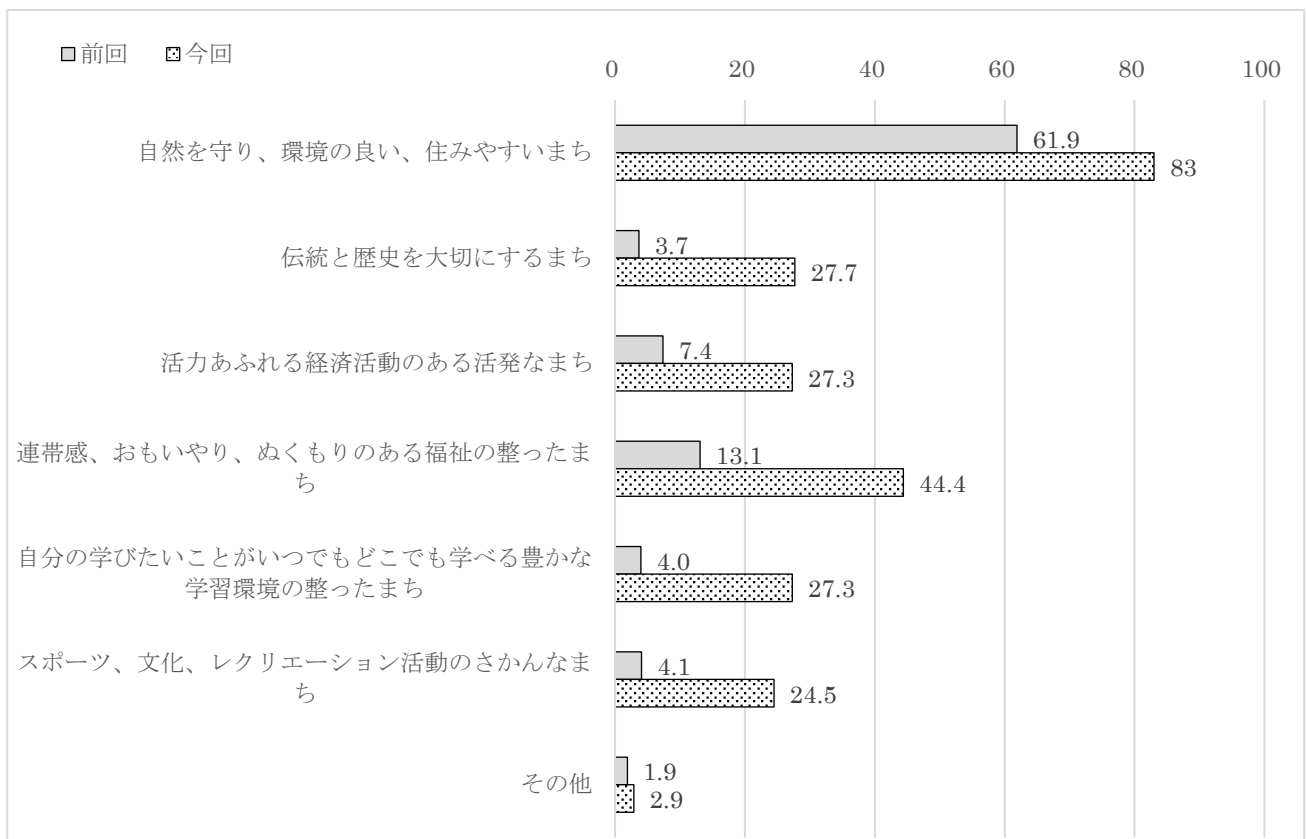
「わからない」が37.2%と多く、次に「参加したことがなく、今後も参加したくない」が22.6%となっています。

- 参加したことがあり、今後も参加したい
- 参加したことがないが、今後は参加してみたい
- 参加したことがあるが、今後は参加したくない
- 参加したことがなく、今後も参加したくない
- わからない



問 17 交野市をどんなまちにしたいと思いますか

「自然を守り、環境の良い、住みやすいまち」が83%と8割を占めており、次に「連帯感、おもいやり、ぬくもりのある福祉の整ったまち」が44.4%となっています。



自然を守り、環境の良い、住みやすいまちが83%と前回と比べて増えています。

→ 引き続き、(施策目標4-1、4-2、4-3)

市民の声

- ・自然が多い環境の中で生活できていることはとても良いが、河川周辺や山をもう少し整備してほしい。
- ・今の市政は経済税収に重きを置いている。交野は自然環境を大切にすべき。環境破壊はするべきではない。
- ・地域高齢化が進み自治会退会者が増えている。自治会の組織自体や活動内容の見直しが必要。
- ・YouTube で八尾市のしおんじやま古墳の講座を何度かみているが、北河内の古い歴史に興味深く思った。交野も古墳の要所だったはずなのに！単独では難しくとも、近隣市と協力し地域の講座など開催しては？私は地域の歴史を含めた地域の魅力をもっと知りたい。交野検定とかはどうですか？
- ・ポスターやパンフレットを見て参加したいと思っても時間や日にちが合わないことが多いので、動画を作ったりしてほしい。
- ・コロナ禍で今までできていたボランティアができなくなり、できる時が来るのを待ち遠しく思っている。
- ・交野の歴史や自然に惹かれ移住してきた。とても気に入っているがやや想像と違った
- ・高齢・少子が進む社会で、町の維持機能や知識、地域の伝統文化、産業などの継承が必要
- ・歴史ある街をもっと PR すべき。例えば大きな古い家屋、私部上の跡地など。
- ・地域のふれあいボランティア活動に参加する人が年々減少している。
- ・自然災害など有事の際に近所の高齢者などに声を掛け合い、助け合うなどのコミュニケーションの充実や仕組みの整備。
- ・子どもたち中心で世代を超えたイベントや活動
- ・神社（郡津神社）などを利用して子供たちの交流となるイベントを開催
- ・コロナ禍での災害で一人一人が孤独に陥ることがないような環境を整えてほしい。

見えてきた課題として

○地域との関わりや交流

当初のアンケートと比べても要介護・要支援高齢者と回答された方が多かったです。高齢者も活動に参加しやすいよう交通の便を意識してほしい。という意見もありました。

高齢化社会において、地域における「近所付き合い」や「地域のつながり」を保てるよう自治会・町内会などを利用した事業への展開も検討していく必要がある。

○自然や環境を守る、住みやすいまち

交野市はもともと田畑も多いし、緑も多いのでそれらも守ってほしい、緑豊かな交野を望むなどの意見もあり、住みやすい環境づくりや里山保全などの取り組みを継続していくことも課題だと考えられます。

○情報発信

インターネットにつながっている環境が増え、好きな時に情報をアクセスできる時代となっているので、動画配信や市民にもっとわかりやすいイベント情報を提供できる仕組みを検討する必要があります。